

77 海洋環境の変化に対応した資源調査・管理体制の構築

令和7年度補正予算額 1,135百万円

<対策のポイント>

海洋環境の変化に対応できる精度の高い資源評価を行うため、調査船調査、市場調査、漁船活用型調査等によるデータの収集及び資源評価の高度化の取組により、資源調査・評価の体制を強化し、**最大持続生産量（MSY）をベースとする資源評価の実施、資源の水準及び動向の判断、不漁等を含む資源変動要因の解明**を推進します。また、TACを有効に活用するため、**TACの消化状況をリアルタイムで共有するプログラムを開発**するとともに、従来の資源管理の取組を検証し、**改良するための取組を支援**します。

<政策目標>

- 資源評価の着実な実施と高度化（MSYをベースとする資源評価対象資源数）（38資源〔令和6年度〕→ 43資源〔令和10年度まで〕）
- 令和12（2035）年度に漁獲量を444万トンまで回復させる 等

<事業の内容>

○資源調査・管理体制構築事業

【海洋環境の変化に対応した資源調査体制の整備】

1. 水産資源調査に要する調査機器の導入

我が国周辺水域の水産資源や国際的な枠組みで管理されている国際資源のうち、特に**海洋環境の変化等により不漁や資源の大幅な変動等が発生**している魚種の**資源調査等に必要な機器を導入**します。

【海洋環境の変化に対応した資源管理体制の整備】

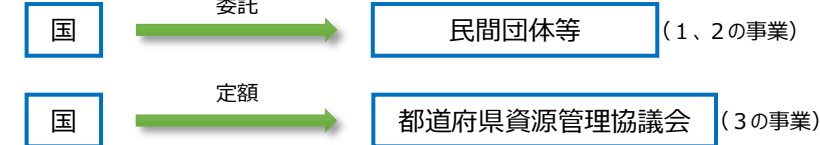
2. 漁獲枠消化状況共有プログラム開発事業

管理区分間でのTACの融通等を促進するため、**管理区分ごとのTACの消化状況をリアルタイムで共有するプログラムを開発**します。

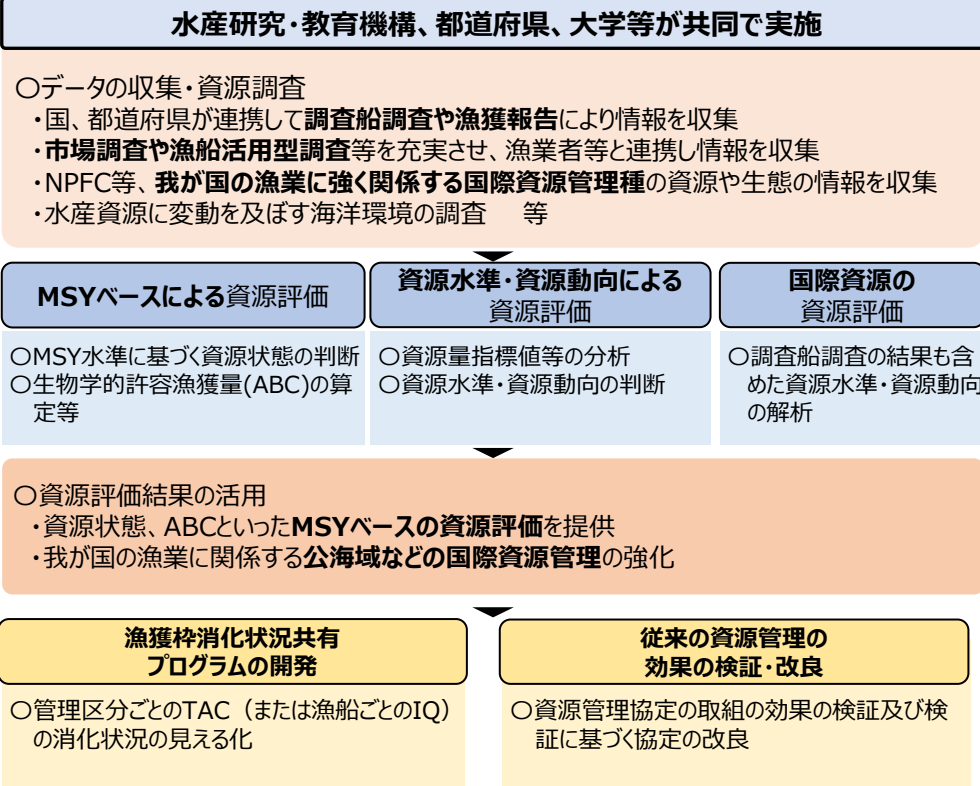
3. 資源管理体制構築事業

従来から行ってきた資源管理の取組について、海洋環境が変動する中における**効果を検証し、その取組を改良するための取組を支援**します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】（1の事業） 水産庁漁場資源課（03-6744-2377）
（2、3の事業） 漁獲監理官（03-3502-8452）